



から看護師数を減らせという指示が来ました。これでは医療サービスのレベルは維持できませんし、今後は診るべき患者も診られなくなるかもしれません。ちなみに、日本の高度専門病院のほとんどは赤字経営です。それでもそのまま運営されているのは、収益を度外視してでも、地域の医療のレベルを維持するためですよね。もちろん今回の日本政府のように場当たりの病院運営が許されるわけではありませんが、本来、地域の医療機関で優先されるべきことは何か、どうあるべきか、そのためにどうするべきか、今回の第8次地域医療計画に記載されたように、あらためて、医療機関は地域の危機管理組織の一つであるということ認識して、医療機関の Surge Capacityというものを考慮した

上で、今後の地域医療を考えて行くべきだろうと考えます。さもなくば、今後も医療逼迫は継続するでしょう。



この一年はこれまでのパンデミックの総括を行いつつ、地域の医療はどうあるべきか、みなさまとともに考えていきたいと思っています。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。



2023年が、みなさまにとって、新たな一歩を踏み出せる一年となることを祈念申し上げます。

Healthier and Happier New Year!



新年のごあいさつ

副院長

あけましておめでとうございます。

3年間続いた新型コロナウイルス感染症も、ようやく出口が見えてきたようです。ただ、ウイルス自体が消えたわけではなく、その他の感染症と同様に引き続き注意すべきことには変わりはありません。これまで以上に地域の皆様から信頼していただける病院となるように、今年も職員一丸となって頑張ります。どうかよろしくお願いたします。

〈菅 秀〉

事務部長

新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。地域から必要とされる病院を目指して今年も更なる努力を職員一同努めて参ります。皆様のより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

〈谷上 勇人〉



看護部長

新年、明けましておめでとうございます

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、様々なイベントを再開してきました。本年も、看護部一丸となり気を引き締めつつ、安全な療養環境とあたたかな看護を提供できるよう、また、専門性の高い看護に向けて励んでまいります。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。

〈林 良子〉

副看護部長

新年あけましておめでとうございます

感染対策でご不便をおかけしておりますが、工夫を重ね健康フェスタやふれあい祭りなど病院のイベント活動を再開することができました。これも偏に皆様のご理解ご協力によるものと改めて感謝申し上げます。これまでの苦労を貴重な経験とし、さらに成長できるように看護部一同力をあわせて進んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

〈若森 紀子〉